

地方創生基本目標評価シート(総括)

基本目標		3. 未来の甲州市を担う人材の創出									
具体的な施策	交流人口の増大に対応する受け入れ体制の強化					No.	3	-	①	-	1
指標名	観光ボランティア登録数							目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	人	43人	30人	48	46人	46人	年54人				
指標名	シルバー人材センター登録者数							目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	人	250人	240人	242人	227人	230人	年250人				
具体的な施策	甲州市の特色を活かした教育の実施					No.	3	-	②	-	1
指標名	全国学力・学習状況調査における平均正答率割合							目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上				
具体的な施策	地域を支える人々とのふれあい					No.	3	-	②	-	2
指標名	学校へのボランティア派遣割合							目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	向上	向上	向上(3,497人)	向上(3,693人)	向上(3,708人)	向上	向上				
具体的な施策						No.		-		-	
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
具体的な施策						No.		-		-	
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
具体的な施策						No.		-		-	
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
指標名								目標値			
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
備考	教育総務課、産業振興課										

KPI

地方創生基本目標評価シート(総括)

基本目標		3. 未来の甲州市を担う人材の創出						
基本的方向	今後見込まれる交流人口の増大に対応する人材の育成を図り、受け入れ体制の強化を促進します。また、地域で活躍できるシニア世代の人材活用や、未来をたくましく拓くことができるよう子どもたちへの教育に力を入れていきます。							
	指標名	学校満足度					目標値	
数値目標	実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	指標名	高齢者の就労率					目標値	
	実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
		%増		-	-	-	-	30%増
	指標名						目標値	
	実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
	指標名						目標値	
	実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
当該年度の評価・課題等								
基本目標の評価	<p>●基本目標に対する数値目標について 学校満足度は向上となっているが、指標の再検討が必要。高齢者の就労率は測定できていない。</p> <p>●具体的施策について ①交流人口の増大に対応する受け入れ体制の強化 KPIは、どちらの指標ともに伸び悩み未達成であった。 主な課題としては、古民家での交流を活用した観光振興では、来訪者のニーズの多様化や交流人口の増加に対応する受け入れ体制を強化するための、観光ボランティアガイドの養成が課題となっている。シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくりでは、今後増えてくるシルバー世代の登録者の増加を図るとともに利用者のニーズにあったきめ細やかな受託事業の充実が必要。今後、増加するシルバー世代の登録者の増加を図るとともに、利用者のニーズにあったきめ細やかな受託事業の充実が必要となっている。</p> <p>②-1甲州市の特色を活かした教育の実施 KPIの指標について再検討が必要と思われる。 主な課題としては、教育環境づくりプロジェクト事業では、甲州市学校教育指導重点をもとに、プロジェクトの取り組みを進めていく必要がある。教育情報化支援員派遣事業では、①先進的ICT環境整備による、個に応じた学力向上への授業、②21世紀型能力の育成を視野に入れた小規模校ならではの授業、③学校連携ネットワークの構築及び交流事業の計画・実施・複数学校合同の同期型CSCL(Computer Supported Collaborative Learning)授業の開発が必要である。英語指導助手派遣事業では、2020年4月に全面実施される「外国語における新学習指導要領」に伴い、小学校英語の教科化に向けて、平成30年度からは移行期間となった。2020年4月全面実施に備え、早期に外国語活動、外国語科の授業時間数への対応が必要不可欠である。</p> <p>②-2地域を支える人々とのふれあい KPIの設定について検討が必要と思われる。 主な課題としては、①学校支援ボランティアの高齢化と人材発掘、②学校のニーズと学校支援ボランティアの調整、③学校のニーズの多様化による各種ボランティアの確保、④中学校との連携強化と事業数の増加に伴う対応、があげられる。</p>							
	計画の方向性							
	<p>●具体的施策について ①交流人口の増大に対応する受け入れ体制の強化 古民家での交流を活用した観光振興については、海外からの観光客等には確かな対応ができる人材を確保し育成していくとともに、養成講座等を通じ、市民の地域資源への関心を高め、観光客の受け入れ体制やおもてなし体制を強化していく。また、活力のあるシニア世代の知識と能力を活かし、来訪者との交流による観光振興と地域の活性化を図っていく。シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくりについては、シルバー世代層の会員登録数の増加を図ることはもちろんのこと、働き方改革等によりシルバー世代層の働き方の考え方が多様化しているため、県のやまなしシニア世代就労推進協議会とも連携し、シニア世代の就労の充実を図っていくこととする。</p> <p>②-1甲州市の特色を活かした教育の実施 教育環境づくりプロジェクト事業については、学力プロジェクトの各事業と各校の校内研究会等との関わりを大切に、全国学力・学習状況調査やQI調査の結果を活用した指導改善を行う。これからの知識基盤社会を担っていく甲州市の小・中学校の児童生徒に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、児童生徒の確かな学力の定着・向上を図ることを今後も継続して推進していく。教育情報化支援員派遣事業については、現在、小規模校や複式学級設置校では、同学年が少ないことから多様な思考に触れられる授業の実施が難しいというデメリットを抱えている。しかし、小規模校における児童の人数をメリットとして捉え、タブレット等のICTを効果的に用いた視覚的理解を生み出す体験型授業の展開や漢字や計算などアプリを利用して反復練習を行う機会などを多く設定し、児童生徒一人ひとりにきめ細やかな指導を行うことができる授業モデルを作成する。英語指導助手派遣事業については、「新学習指導要領」の導入による移行期間に伴い、小学校外国語活動(小学校1~4年生)及び外国語科(小学校5~6年生)の授業時間増に向け、ALTの適切な配置や増員を行うことにより、2020年4月に全面実施される「新学習指導要領」への対応が可能。</p> <p>②-2地域を支える人々とのふれあい 地域の人材を学校支援ボランティアとして活用するための支援体制を構築し、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図り、児童、生徒の健全育成と教育環境の整備をさらに推進していく。</p>							